

平成21年度長岡京市事務事業点検(事業仕分け)結果

班 別	第2班	時 間	午後4:20~5:00
事業番号	20	所管部署名	土木課
事業名	交通安全啓発活動事業		
事業仕分け結果	市が実施 内容・規模の見直し		
内 訳	(1)不要	1人	
	(2)国及び府実施	-	
	(3)市実施 現行通り	-	
	(4)市実施 内容・規模見直し	4人	
	(5)市実施 民間委託	-	
	(6)民営化(NPO、地域団体含む)	-	
<p>【「不要」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育推進事業と重複している。 交通安全フェアは対象者があいまいである。 乙訓地域交通安全活動推進委員の負担金については2市1町で協議し、廃止を検討すべき。 <p>【「市実施 内容・規模見直し」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども、子育て世代は、交通ルール、マナーを守っているという点で、この世代を対象としている現在の交通安全フェアの意義は薄い。高校生、成人への啓発を重点化すべき。 交通安全フェアは廃止すべき。 交通安全フェアありきで対応をせず、啓発のターゲットを見極め、必要な施策を講ずるべきである。 交通安全フェアはいったん終期を設定するべき。 啓発のために、自転車免許の導入、交通安全関係の条例制定などを検討すべき。 対応すべき地域課題は、自転車事故の増加と、高齢者の死亡事故の増加である。これを食い止める事業内容に見直さなければならない。警察との連携、ハザードマップの作成で、原因を究明し、市が対策案を作成し、地域との協働により、防止策を決定し、実施するのがよい。 交通安全のために市役所の全庁的な取り組みが必要。 警察との協力、自治会、学校への啓発や協力が必要。 事故の実態を踏まえ、公共私による軽減策を実施すべきである。 交通委員の負担金については2市1町で協議すべき。 			

※今後この事業をどうしていくかは、仕分け結果と仕分け委員からいただいた意見を考慮したうえで、市としての最終的な判断を行います。